



診断・治療の選択肢が限られる梅毒と、
薬が効かなくなりつつあるマイコプラズマ。

“治せない性感染症”になる前に、
次の医療の一手を。



目標金額 **300**万円 2025年 **7月15日** (火) 9時～**9月12日** (金) 23時まで

増加する性感染症に立ち向かう ～培養困難な細菌の培養法確立を目指して～

※本クラウドファンディングへのご寄付は札幌医科大学へのご寄付となり、税制上の優遇措置が受けられます。

※本プロジェクトは All or nothing方式のため、募集終了日までに目標金額に到達しなかった場合、いただいたご寄付は返金いたします。

梅毒やマイコプラズマ・ジェニタリウムは、「性感染症」としていま再拡大しており、不妊や流産、先天性の重い障害など、妊娠・出産にかかわる世代にとって深刻なリスクとなっています。

しかし、両者の原因菌は、生きたままの状態での培養が極めて難しいため、病気の正体も薬の効き方も十分に解明されていません。特に梅毒では診断法やアレルギーを持つ妊婦さんへの治療薬が限られており、マイコプラズマは主要な治療薬に耐性を持つ割合が高く、治療が困難なことが報告されています。

診断・治療の選択肢が限られる梅毒と、薬が効かなくなりつつあるマイコプラズマ。“治せない性感染症”になる前に、次の医療の一手を。私たち札幌医科大学医学部 感染制御・臨床検査医学講座は、一般的に入手可能な機材や試薬だけで「病原菌を培養する方法の確立」に挑戦しています。この研究が、次なるステージ、「診断の精度向上や新たな治療法の開発」につながると私たちは信じています。

本プロジェクトのために必要な費用は約 300万円。顕微鏡やクリーンベンチ、培養細胞など、研究の土台となる設備や試薬の整備に充てさせていただきます。

「もしかしたら自分や、身近な人の未来を守る一手になるかもしれない」そう思ってくださいの方は、どうかこの研究にご寄付をお願いいたします。

● プロジェクト内容について：医学部感染制御・臨床検査医学講座(安田) yasuda7jpe@sapmed.ac.jp

● 税金控除について・Webでのご寄付が難しい方：事務局研究支援課(瀬上) kihukin@sapmed.ac.jp

<https://readyfor.jp/projects/STI>



札幌医科大学 性感染症 レディーフォー



ご寄付の方法

「札幌医科大学 性感染症 レディーフォー」で検索。または表面の二次元コードを読み込んでください。

1 プロジェクトの寄付にすすむ
をクリック



2 希望するコースにチェックを入れ
個数を選択し次に進むをクリック



3 はじめて利用する方は新規登録へ
をクリック



4 情報を入力し
メールアドレスで登録をクリック



5 支払い方法を選択する



6 必要情報を入力

★クレジットカードの場合
→カード情報を入力

★銀行振込の場合
→画面の案内をお読みください

★コンビニ支払いの場合
→画面の案内をお読みいただき、
コンビニの種類を選択

※コンビニ支払いは、ファミリーマート、ローソン、ミニストップのみ対応です。寄付金額+システム利用料の合計金額が30万円未満のご寄付でご利用いただけます。



入力したメールアドレス宛に READYFORからメールが届きます。
受信したメールの本文内にある URLをタップしてください。

7 ギフトお届け先(住所)を入力し
入力内容の確認画面へをクリック



8 入力情報を最終確認し、
寄付を確定するをクリック



★選択したコース、個数
★合計金額
★支払い方法
★カード情報または口座情報
★ギフトお届け先(住所)
を確認し、
アンケートとメール配信
について回答

お手続き完了です！

銀行振込・コンビニ支払いの場合
「支援履歴」から返金先情報の
設定をご確認ください。